

◎組合訪問「三洋電機労組マニユファクチャリング支部」

FACETOFFACE

”顔の見える支部“作り

◎今号からフロントページの取材で訪問した企業の労働組合の活動紹介をお掲載していきます。(文責・編集 IMFJC 組織総務局)

Q1 まずマニユファクチャリング支部の成り立ちとか、三洋労組の中での位置づけなど支部の紹介からお願いします。

権田 三洋東京マニユファクチャリング(株)は、「最強のものづくり会社」として厳しい環境の中で生き残り、中・長期的に競争力のある製造会社として発展していくことを目指して2004年4月1日に発足しました。

三洋労組マニユファクチャリング支部は、三洋東京マニユファクチャリング(株)に転籍をした組合員さんからなり、この会社に対応した支部です。

我が支部の組合員数は、現在1830人で、支部の役員体制は、委員長1名(萩口和之)、副委員長3名(金子裕昭、橋本修、松島功)、専従書記長1名(権田英二)、執行委員10名の体制で運営しています。そして、事務所には専従の女性書記が2名いて事務作業をこな

してくれています。

Q2 マニユファクチャリング支部としての主な活動は何ですか?

権田 基本的な支部の活動方針は、労組本部



三洋電機東京製作所の構内風景

「ONLY ONE」活動についてもう少し詳しく説明してください。

権田 激しい環境変化や価値観の転換が進む中で労働組合の活動においても、十分な組合員さんの理解の下に活動を進めていく必要があります。基本的には職場討議を論議の尽くせる場としていくことですが、職場役員さんでは対応が困難になってきている現状があるので、支部執行委員以上の役員と組合員さんが直接、気楽にまじめな話のできる場(テーマは特に決めず)として、「わいがやトーク」活動“を位置づけています。

また、企業倫理という観点からコンプライアンスに関わる職場の問題が、社会的問題に発展する前に労働組合が職場から情報をキャッチし、自浄作用のできるシステムとして今後ともこういう場を活用していきたいと思っています。



三洋電機労組マニユファクチャリング支部事務所

「ONLY ONE」活動とは、三洋労組の運動をより身近にし、魅力あるものにするために、支部や職場の特性に合わせて、支部の特色を生かした活動のことです。わがマニユファクチャリング支部の「ONLY ONE」活動としては、支部の組合員さんのニーズに合わせたスキルアップ勉強会や東京製作所周辺の環境ボランティア活動を今期の活動としております。また、新会社に対応した新しい支部として、何よりも、組合員さんが、「一体感」を感じられるような支部活動(行事など)を考えております。

Q4 新しい支部として、いろいろと章創のご苦労があると思いますが、特に重点を置いている点は?

権田 支部として重点を置いていることは、組合活動の原点は職場であることを忘れず、「顔の見える活動」FACETOFFACEの活動を心がけています。さらに、「できる限り三役は職場を巡回し、組合員さんに「顔の見える支部」作りを目指しています。

Q5 三洋電機労組東京製作所地区には6支部あると伺いましたが、東京製作所地区として、各支部が連携して行っている活動などがあれば教えてください。

権田 三洋電機東京製作所として三洋電機労組東京製作所地区協議会(杉本議長)を設置しており、6支部で構成されています。労組組織再編により、事業分野ごとの支部体制になりましたが、この東京製作所地区は三洋



●三洋電機労組マニユファクチャリング支部/書記長
権田英二(こんだ・えいじ)

(大阪)方針に基づいた活動になっており、特徴的な活動としては、役員と組合員のコミュニケーション(論議のできる場の充実)の場として「わいがやトーク」を位置づけて活動を推進しています。それと発足したばかりで十分な活動はできていませんが、経営対策の強化にも取り組んでいきたいと考えております。組合員さんにとっての幸せは、今の職場で働き続けることであり、この会社の永続的な発展がなければなりません。「わいがやトーク」活動“から組合員さんの意見を吸い上げ経営対策に生かしていけたらと考えております。

支部独自活動ということでは、支部の特色を生かした「ONLY ONE」活動の展開をしています。

Q3 「わいがやトーク」活動“や「ON



事務所風景

電機グループの中でもっとも地域性が強いところで、この協議会活動は非常に重要な役割を果たしています。

東京製作所地区協議会のメンバーは、6支部の支部長で構成されています。協議会開催は、毎月1回で、この地域に関わる労使の取り組みなどを協議しています。

もうひとつ東京製作所地区の連携ということでは、東京製作所書記長会議が設置されており、地区協議会と同様に6支部の書記長で週1回、外部団体などとの連絡・調整、支部間の情報交換などを行っています。

東京製作所地区としての活動としては、地区ボランティア活動を活発に行っています。地区ボランティア推進委員会のもと、従業員のボランティア機会の創出や、地域貢献活動を推進しています。今期の活動としては、地区EforAと名付けた森林保全活動、河川保全活動を展開していきます。